



平成 27 年 4 月 30 日

各 位

会 社 名 日 本 製 紙 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 馬 城 文 雄  
 ( コ ー ド 番 号 3 8 6 3 東 証 第 一 部 )  
 問 合 せ 先 関 連 企 業 部 長 西 本 智 美  
 (Tel. (03) 6665-1004)

**四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式譲渡契約締結  
 および特別損失発生に関するお知らせ**

日本製紙株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：馬城 文雄）は、平成 27 年 4 月 3 日付「四国コカ・コーラボトリング株式会社の株式譲渡に関する基本合意について」で公表しましたとおり、当社の連結子会社である四国コカ・コーラボトリング株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役社長：前田 高弘、以下「四国コカ・コーラ」）の発行済普通株式全部のコカ・コーラウエスト株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：吉松 民雄、以下「CCW」）への譲渡（以下「本件」）に関する最終契約書の締結に向けて協議を進めてまいりましたが、本日、以下のとおり、CCWとの間で本件に関する株式譲渡契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件の背景および目的

四国コカ・コーラは、当社の事業多角化の一環として、昭和 38 年に四国飲料株式会社（現 四国コカ・コーラ）として設立以降、四国におけるリーディングカンパニーとして確固たる地位と実績を築いてまいりました。その後、平成 5 年に大証第二部上場、平成 12 年に東証第一部上場を経て、当社は、平成 21 年に四国コカ・コーラを完全子会社化し、消費者ニーズの多様化や節約志向などの影響を受けて経営環境が厳しさを増す中、同社の経営基盤強化に努めてまいりました。

しかしながら、飲料市場は競争激化の一途であり、当社は、今後も四国コカ・コーラが地域社会とともに持続的に成長・発展していくためには、事業エリアの地域性を考慮し、コカ・コーラボトリングビジネスとしての事業効率性を向上させていくことが最重要課題であると判断いたしました。

一方、当社といたしましても、本件を実現させることにより、バイオケミカル・ヘルスケア・エネルギーなどの分野への経営資源の集中化を進め、グローバルレベルでの総合バイオマス企業として飛躍するために事業構造転換を加速させ、ひいてはグループ企業価値向上を図ることができると判断し、CCWとの間で協議を重ねた結果、本日、本件に関する株式譲渡契約を締結するに至りました。

2. 異動する子会社（四国コカ・コーラ）の概要

(1) 名 称	四国コカ・コーラボトリング株式会社
(2) 所 在 地	香川県高松市春日町 1378 番地
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 前田 高弘
(4) 事 業 内 容	清涼飲料の製造・販売
(5) 資 本 金	5,576 百万円（平成 26 年 12 月 31 日現在）
(6) 設 立 年 月 日	昭和 38 年 1 月 7 日
(7) 大株主及び持株比率	日本製紙株式会社 100%

(8) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	当社は、本日現在、四国コカ・コーラの発行済株式の100%を所有しております。
	人的関係	当社の従業員2名が四国コカ・コーラの監査役を兼務しているほか、当社の従業員4名が四国コカ・コーラグループに出向しております。
	取引関係	当社は、日本製紙のCMS（キャッシュ・マネジメント・システム）の一環として、四国コカ・コーラより資金を借受けております。
	関連当事者への該当状況	当社は、四国コカ・コーラを連結子会社としており、関連当事者に該当します。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態（連結）

決算期	平成24年12月期	平成25年12月期	平成26年12月期
連結純資産	36,433百万円	35,974百万円	35,675百万円
連結総資産	41,368百万円	41,619百万円	40,076百万円
1株当たり連結純資産	1,557.4円	1,537.8円	1,525.0円
連結売上高	48,984百万円	48,838百万円	46,999百万円
連結営業利益	289百万円	326百万円	△115百万円
連結経常利益	538百万円	604百万円	151百万円
連結当期純利益	150百万円	△197百万円	40百万円
1株当たり連結当期純利益	6.4円	△8.4円	1.8円
1株当たり配当金	15.8円	15.8円	15.8円

(注) (9)に記載された連結決算上の数値については監査証明を受けておりません。

3. 株式譲渡先（CCW）の概要

(1) 名称	コカ・コーラウエスト株式会社	
(2) 所在地	福岡市東区箱崎七丁目9番66号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 吉松 民雄	
(4) 事業内容	飲料・食品の製造、販売事業	
(5) 資本金	15,231百万円（平成26年12月31日現在）	
(6) 設立年月日	昭和35年12月20日	
(7) 連結純資産	254,150百万円（平成26年12月31日現在）	
(8) 連結総資産	337,260百万円（平成26年12月31日現在）	
(9) 大株主及び持株比率 （平成26年12月31日現在）	株式会社リコー	15.37%
	公益財団法人新技術開発財団	4.76%
	薩摩酒造株式会社	4.23%
	株式会社MCAホールディングス	3.97%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	3.79%
(10) 上場会社と当該会社の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	該当事項はありません。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

#### 4. 譲渡株式数、譲渡価額および異動前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	23,394,076 株 (議決権の数：233,940 個) (議決権所有割合：100%)
(2) 譲渡株式数	23,394,076 株 (議決権の数：233,940 個)
(3) 譲渡価額	9,760 百万円 (注1)
(4) 異動後の所有株式の状況	0 株 (議決権の数：0 個) (議決権所有割合：0.0%)

(注1) 譲渡価額の算定につきましては、外部専門家（フィナンシャルアドバイザー）による株式価値評価（DCF法等の手法によるもの）を実施し、株式譲渡の相手先との協議の上、譲渡価額を決定しております。

#### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	平成27年4月30日
(2) 契約締結日	平成27年4月30日
(3) 株式譲渡実行日	平成27年5月18日（予定）

#### 6. 今後の見通し

本件に伴い、当社は四国コカ・コーラの株式の売却損 約 164 億円を平成 28 年 3 月期第 1 四半期連結決算において特別損失として計上する見込みです。なお、株式譲渡の実行に先立ち、当社は四国コカ・コーラから約 88 億円の配当を受け取る予定です。

平成 28 年 3 月期の連結業績予想につきましては現在精査中であり、平成 27 年 5 月 15 日に予定している平成 27 年 3 月期連結決算の発表時に公表する予定です。

以 上